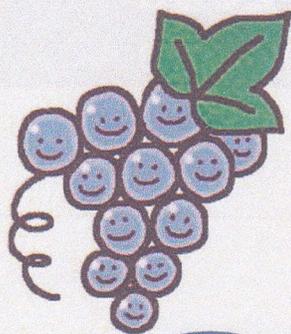


発達と障害を理解し

実践に生きる発達診断をめざして



教育と保育のための 発達診断セミナー

日時

2017年11月5日(日) **in 山梨**
10:00~16:30 (受付開始 9:30)

会場

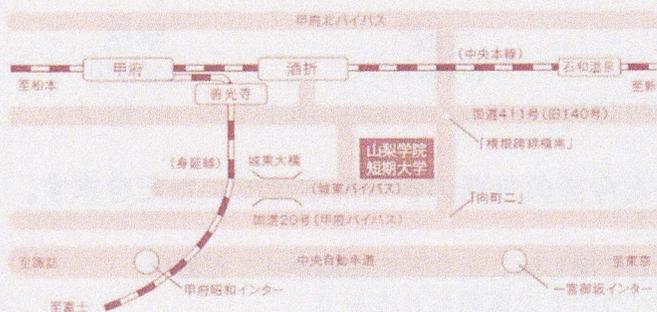
山梨学院短期大学 サザンタワー3階 301教室

JR中央本線「酒折駅」徒歩3分、
身延線「善光寺駅」徒歩12分

全障研会員 4,000円
一般 6,000円

(事前申込制) 定員 200名

定員に達し次第受付をしめきります。
裏面にご記入のうえお送りください。



発達診断セミナーへのお誘い

白石正久

多くの場合、教育や保育における発達評価は、テストを実施して「できたーできない」を判別したり、発達年齢や発達指数を算出することにとどまっています。それは残念なことです。テストは緊張を強いられるものですが、子どもたちは、試行錯誤し失敗を重ねつつも、精一杯に課題と向き合ってくれます。その過程のなかにある姿に、芽生え始めている大切な力や自己変革の意志・感情が隠れています。全国障害者問題研究会は、「発達診断」によって子どもが外界をどのように理解し、働きかけ、取り込もうとするのかを明らかにする研究をしてみました。そして、子どもに潜む発達要求(できるよになりたい、わかるよになりたい、こんな人間になりたいという願い)を把握し、発達要求ゆえに生じる葛藤や矛盾をのりこえていくための支えや手掛かりのありようを、実践によって検討してきました。

子どもたち、障害のある人たちの発達保障に携わっているみなさんが、さまざまな行動のもつ発達の意味や、活動に潜む発達要求を探求することの一助に、このセミナーがなることを願います。

プログラム



■講座1■ 白石正久
「1歳半の発達の質的転換期と発達診断」10:00~11:45
しらいし まさひさ/龍谷大学

=各自昼食=



■講座2■ 服部敬子
「4、5歳の発達の姿と発達診断」
12:45~14:30
はっとり けいこ/京都府立大学



■講座3■ 楠凡之
「9~10歳の発達の姿と発達診断」
14:45~16:30
くすのき ひろゆき/北九州市立大学

主催 NPO 法人 発達保障研究センター

共催/全国障害者問題研究会山梨支部 協賛/(社福)いずみ会
(協力機関 山梨学院短期大学地域連携研究センター)

〒169-0051 新宿区西早稲田 2-15-10
西早稲田関口ビル 4F 全障研付
発達保障研究センター 電話 080-4332-2601

発達診断セミナーin 山梨（11月5日）参加申込書

①～⑧にご記入のうえ、お送りください。折り返し参加確認書をお送りします。

送信ファックス番号 03-5285-2603
 電子メール npocenter@nginet.or.jp

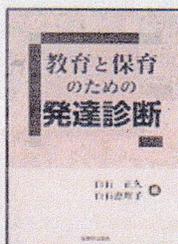
発達診断セミナーin山梨 申込書

ふりがな	②電話番号							
①お名前								
③ご住所 〒								
④E-mail アドレス								
⑤年齢(いずれかに○) 20代・30代・40代 50代・60代～	⑥お仕事など(あてはまるものに○) 障害児学校教員、障害児学級教員、通常学級教員、 保育・療育職員、成人期施設職員、障害のある本人、 家族 その他 ()							
⑦テキスト希望者は○ テキスト希望* ()	⑧参加費 (いずれかに○) <table border="0"> <tr> <td>全障研会員</td> <td>一般*</td> <td>学生</td> </tr> <tr> <td>4000円</td> <td>6000円</td> <td>3000円</td> </tr> </table> <small>*当日年会費3,000円を添えて入会しますと全障研会員4,000円で申し受けます。</small>		全障研会員	一般*	学生	4000円	6000円	3000円
全障研会員	一般*	学生						
4000円	6000円	3000円						

★アンケートにご協力ください。今回のセミナーと今後の企画の参考にさせていただきます。

1) 今回の講師にお聞きしたいこと、このセミナーで話してほしいことなどをお聞かせください。
 (テキスト『教育と保育のための発達診断』の内容についての質問もどうぞ。)

2) 日頃の思いやこれから学んでみたいことなどお聞かせください。



*本セミナーは『教育と保育のための発達診断』（白石正久・白石恵理子 編著 全障研出版部 A5判 272頁定価（本体2,800円＋税））をテキストにしています。同書の執筆陣が講師です。受講者は当日ご持参ください。購入希望者は参加申込用紙に記入すれば事前にお届けします（すでにお手元にある方はそれをご活用ください）。